

目次

序章

1. 研究の目的 (一)
2. 研究方法 (三)
3. 本稿の構成 (五)

第I部：芸能から祭儀へ

第一章：芸能から祭儀へ

1. はじめに (一一)
2. 「祭儀から芸能へ」という言説 (一三)
3. 「芸能」・「民俗芸能」という言葉 (一七)
4. 言霊信仰から祝詞へ (二一)
5. 翁から神へ (二五)
6. 浦安の舞 (三〇)
7. 結び (三四)

第二章：韓国巫覡儀礼から見た宮廷の御神楽―園・韓神祭と鎮魂祭を中心に―

1. はじめに (四二)

第II部：神の顕現

第三章：神霊の顕現の方式 — 神がかりを中心に —

2. 園・韓神祭	(四四)
3. 鎮魂祭	(五三)
4. 結び	(六二)
1. はじめに	(七〇)
2. 巫女の神がかり	(七六)
(1) イタコのお寄せ—ヤマダテ	(七八)
(2) イザイホウ—神女の渡る橋	(八二)
3. 修験道の神がかり	(八五)
(1) 引座—神霊の乗り物	(八六)
(2) 護法祭り—走り回る	(八九)
4. 神楽の神がかり	(九二)
(1) 天蓋	(九三)
(2) 蛇綱	(九六)
(3) 布舞 (帯舞)	(九八)
(4) 舞による神がかり	(一〇二)

5.	結び	(一〇四)
第四章：葬送儀礼における芸能の諸相			
1.	はじめに	(一一二)
2.	葬送儀礼と芸能	(一一四)
	(1) 葬式神楽	(一一六)
	(2) 霊祭神楽	(一一八)
3.	身売り能	(一二一)
4.	韓国の葬送儀礼と芸能	(一二七)
	(1) 死霊結婚(オググツ)	(一三三)
	(2) 洗魂と洗骨(シツキムグツ)	(一三九)
	(3) 葬儀と遊び(ダシレギ)	(一四四)
5.	小道具を通して見た葬送儀礼と神楽	(一四七)
	(1) 口元につける水	(一四八)
	(2) 米・俵・飯	(一四九)
	(3) 布と善の綱	(一五一)
6.	結び	(一五三)
第五章：神の表象―カミミチを中心に―			
1.	はじめに	(一五九)

2.	カミミチの分類	(一六〇)
3.	カミミチの境界性	(一六二)
4.	神楽におけるカミミチ	(一六四)
5.	結び	(一六七)

第III部：舞う神と舞わぬ神

第六章：殺される神考—三番叟の思想的背景を探る—

1.	はじめに	(一七二)
2.	醜女神	(一七五)
3.	殺される女神	(一七九)
4.	韓国仮面戯に見られる神の死	(一八九)
5.	結び	(一九三)

第七章：尻振り舞考

1.	はじめに	(一九七)
2.	韓国仮面戯の尻振り舞	(一九八)
3.	「君の舞」の尻振り舞	(二〇五)
4.	尻振り舞の系譜	(二〇八)
5.	三番叟の尻振り舞	(二一〇)

6. 尻振り舞の出で立ち	・ ・ ・ ・ ・	(二二三)
7. 結び	・ ・ ・ ・ ・	(二二七)

第八章：舞う神と舞わぬ神

1. はじめに	・ ・ ・ ・ ・	(二二二)
2. 神がかりから仮面へ	・ ・ ・ ・ ・	(二二四)
3. 遠山祭りの鎮魂神	・ ・ ・ ・ ・	(二二六)
4. 坂部冬祭りの面形	・ ・ ・ ・ ・	(二三〇)
5. 韓国の別神グツにおける招かれぬモノ	・ ・ ・ ・ ・	(二三三)
6. 韓国の仮面戯の神々	・ ・ ・ ・ ・	(三三八)
7. 結び	・ ・ ・ ・ ・	(二四一)

第IV部：舞う者と舞わせる者

第九章：舞う者と舞わせる者―韓国の巫俗儀礼の男巫（ファレンイ）を中心に―

1. はじめに	・ ・ ・ ・ ・	(二四六)
2. 巫と覡	・ ・ ・ ・ ・	(二四八)
3. 巫堂とファレンイ（花郎）	・ ・ ・ ・ ・	(二四九)
4. 男巫ファレンイの職能	・ ・ ・ ・ ・	(二五四)
(1) 東海岸地域の別神グツの巫覡	・ ・ ・ ・ ・	(二五四)

(2) 忠清道地方の法師と菩薩	二六二
(3) 京畿道の都堂グツのフアレナイ	二六九
5. 結び	二七一
第十章：モドキと兩部制	
1. はじめに	二七七
2. 真似するモドキ	二七九
3. 道化役としてのモドキ	二八八
4. ワキとしてのモドキ	二九〇
5. 韓国の巫俗儀礼におけるモドキ	二九二
6. モドキと番舞	二九七
7. 結び	三〇一
結章	三〇七
初出一覧	三一三
主要参考文献一覧	三一四